

科目名	通商実務論	科目コード	1254	単位数	2
担当者名	早川 淑人	開講セメスター	第5セメスター	開講年次	3年次
授業の方法	講義	到達目標	C,G	実務経験	無
ナンバリング	MAq507	DP（ディプロマポリシー）と到達目標の関連性については、カリキュラムマップ参照			

● 授業のねらい

現代社会で貿易を理解するには購買手順だけではなく、人種・宗教・価値観・歴史・慣習・気候・金融・リスクマネジメントなども学ぶ必要があります。日々変化する社会背景や政治を理解することも、貿易を学ぶには不可欠です。テキストだけではなく新聞記事を多用し、C級試験合格を目指します。

● 到達目標

C級試験対策だけではなく、社会で求められる能力である想像力（創造力）、調整力、分析力、話力など、他者・組織との合意形成能力を身に付けるとともに、思考力を養うことを目標とします。

● 授業内容

- 1週目 ガイダンス（講義の進め方）・日本の貿易構造と国際社会
- 2週目 マーケティング戦略と契約上の基礎知識
- 3週目 インコタームズの基礎知識と輸送手段
- 4週目 貿易に必要な保険と補償内容（小テスト）
- 5週目 消費者保護と企業倫理
- 6週目 日経新聞の読み方（日常的な貿易情報）
- 7週目 輸出手続きの手順と関係法令
- 8週目 輸入手続きの手順と関係法令
- 9週目 英文ビジネスレターの基礎知識（小テスト）
- 10週目 国際情勢分析演習
- 11週目 過去問題テスト・解説
- 12週目 貿易事例研究（課題）
- 13週目 通商実務論 総まとめ講義（小テスト）
- 14週目 外航貨物保険（英文書）作成演習
- 15週目 貿易実務演習 ・セメスター末テスト
- 16週目 通商実務論最終まとめ講義

● 準備学修（予習・復習）の具体的な内容及びそれに必要な時間

講義予定を参考に事前に1時間はテキストを読み、新聞（できれば日本経済新聞）の経済面・国際面には毎日目を通してください。また講義後は、テキストや配布資料に再度立ち戻り、各種手続の全体像をイメージしながら週3時間以上は復習及び問題演習に取り組んでください。

● 成績評価の方法・基準

4項目(計100点)を基準に評定する。 小テスト:10×3回=30点(評価点=実得点×10%換算・小数点以下切上)、 末テスト:30点(評価点=実得点×30%換算・小数点以下切上)、 ミニテスト:30点(評価点=(実得点総合計)÷実施回数×30%・小数点以下切上)、 課題:10点×1回=10点
 なお、試験の半数はテキスト以外からの論述式試験です。日常的に新聞を読んでいない学生は、政治面・国際面・消費者物価面・金融面を読み、世の中の流れがわかるようにしておくこと。試験は暗記だけではなく、国際情勢を考えて解く問題を多用します。

● 履修上の留意点

通商実務論 を同時に履修しなければ、検定試験の全範囲は網羅できないため、必ず同時に履修してください。また、毎回必ず【2B以上の鉛筆】（シャープペンシル可）もしくは【黒のボールペン】を持参のこと。

● 課題に対するフィードバックの方法

講義時に実施した各テストやレポート等の提出物は、早ければ次回の講義内にてその得点のフィードバックを行います。各提出物の返却は行いません。

● テキスト

「最新貿易実務ベーシックマニュアル(改訂4版)」日本貿易実務検定協会編・MHJ出版 ¥4,510(税込)
 上記の他、追加のテキストは講義内で指定します。
 本テキストは、「通商実務論」と同じテキストを使用します。

● 参考書

「お辞儀とすり足はなぜ笑われる」内海義雄著 日本経済新聞社 ¥935（税込）
 本参考書は、「通商実務論」と同じものになります。
 英和・和英辞書は、毎回各自で持参してください。

● 更新日付

2025/03/04 10:27